

## ブローグ

こんにちは。中村浩美です。

普段は一児の娘の母と、妻をしながら、仕事では看護師として訪問看護をしています。傍らであなたの中に、もう「ある」のにまだ気づいていない、隠れてしまっている希望や可能性、信頼やつながりや安心、幸せの体験といった「ある」を「照らす」ため、訪問看護の現場やチーム創りという日々の仕事の中で、また、文章の発信や、個人・グループに向けたお話し会、インターネットラジオ『ラジオあるてらす』のパーソナリティーとして、人生が豊かになるきっかけを届ける活動をしています。

これといった取り柄もなく、面倒なことは避けたい。逃げたい。汚いものは見ないふり。できるだけ波風立てずに生きてきた私が、そんな活動に辿り着いたのは、私が妊娠4カ月の時、旦那が白血病になったことがきっかけです。

人は、生きていれば、自分ではコントロールできないような病気や事故や天災、困り事や失敗など避けようのない体験に出逢います。

私も、まさかそんな未来が自分を待っているなんて想像もしておらず、大切な人が生きるか死ぬかを突きつけられる突然の出来事や、大きな環境の変化に、自分にとつて都合よく思い通りにいくことばかりではないということを実感しつつも、現実が受け入れられず、不平不満を撒き散らしやさぐれる時期を過ごしました。

そんな私が、たくさんの素晴らしい出逢いのおかげで、人の中で癒やされ、一步踏み出すきっかけをもらい、自分の力で未来を変える行動を重ねることができる。実はもう「ある」幸せのカケラを手に未来を創りにいける。本来ある魅力に気づいて自分の人生を取り戻して輝いていける。そんな希望ある体験を重ねることになり、見える世界が大きく変わる体験をします。

私のたどった道をお伝えすることで、目の前で起きていることは違ったとしても『私にもあるかも！』そんな声とともに、ほじめて自然体の自分に還っていく。そして、自分の人生を自らの力で未来に力強い歩みを進めていける。そんな追体験となる「きっかけ」を一つでもたくさんお届けできますように。

現実綺麗事ばかりではないことを心から受け入れるからこそ、世界は優しくあたたかく、希望や信頼やつながりや安心、可能性が目の前に散りばめられていて、本当はもうたくさん「ある」ということに気づくことができます。限りあるいのちの時間の中に、あなた自身の力で幸せの体験を重ね、あなただけの「あなた物語」を創ってほしい。

この本があなたの未来の「ある」を「照らす」「きっかけとなることを心より願って。

それでは 私が 私の置かれた場所から見てきた世界のお話。

白血病の旦那と妊婦の私から始まる幸せのカケラ探しの物語。

私たち夫婦の奇跡の軌跡の物語を、今 ここからお話ししましょう。